

高齢者・障がい者・医療施設の従事者を対象にした一斉PCR検査が実施へ 広島市の80万人一斉検査にならない、無症状者も含めた検査を

1月21日、新型コロナ対策での臨時議会が開催され、12月議会で日本共産党の質問に市長が実施を表明した「高齢者施設・障がい者施設・医療施設の従事者を対象にした一斉PCR検査」実施のための補正予算が提案されました。さらなる拡充を求めて、党市議団で質疑・討論を行いました。

高齢者・障がい者・医療施設従事者 37,000 人に月 1 回検査

重症化リスクの高い高齢者等が利用する入所・入院施設等の従事者を対象にした PCR 検査実施の予算が提案されました。医療・介護現場から待ち望まれていた一斉検査の定期実施です。予算総額 4 億 700 万円

【内容】

高齢者施設 408 カ所
障がい者施設 76 カ所
医療施設 210 カ所
合計 694 施設・37,000 人

* 月 1 回の検査 (予算は 2・3 月分で、通所・診療所等は対象外)

広島市の 80 万人一斉検査

熊本市と同じ「ステージ 4」の広島市では、国の緊急事態宣言に準じた対策実施の方針で「集中対策」を 2 月 7 日まで延長、市内でも特に感染者数の多い地域「中区・東区・西区・南区」ですべての住民と働く人を対象に、希望者に無料で PCR 検査を行います。市中感染の封じ込めを狙いにした、全国で初めての 80 万人規模の大規模な PCR 検査の実施となります。

国の緊急事態宣言地域に準じ、抜本的な拡充を

国の「新型コロナウイルス対処方針」では、PCR 検査について、感染拡大地域では、医療・介護従事者だけでなく、入院・入所者等への幅広い PCR 等検査実施を求めています。

なすまどか議員は質疑で、施設の入院・入所者も対象にする

ことや、一斉検査を教育施設・学童保育・保育所等へと広げることを求めました。

さらに、熊本市は緊急事態宣言の対象となるステージ 4 の水準であり、広島市で実施される地域住民等も含めた大規模な PCR 検査実施を求めました。

臨時議会後の 1 月 26 日、さらに「通所系」へも拡充

1 月 26 日、臨時議会で決定した「高齢者・障がい者・医療施設の従事者対象の一斉 PCR 検査」について、専決処分で「通所系の施設」も対象に加えて実施することが決定されました。

追加予算 3 億 6,000 万円

内容は、通所・訪問系の 2,046 事業所の 2 万人を対象に、月 1 回の定期検査を実施する。

(追加予算は 2・3 月分)



<お詫びと訂正>

前回の市議会だより(1月24日号)に「熊本市の時短要請協力店舗へ家賃支援」についてご案内しましたが、支援内容に「補助率 1/2」の記載が漏れていました。お詫びして訂正します。助成内容は以下のとおりです。

【助成額】1 店舗 1 カ月分の家賃・1 回限り
(上限 35 万円に補助率 1/2 で、最高で 175,000 円の助成)

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町 1-1 3 階

発行：日本共産党熊本市議団

上野みえこ なすまどか

NO. 1221

2021 年 1 月 31 日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種体制の整備始まる

2 月末にも政府が接種開始を始めようとしている新型コロナウイルスワクチン。熊本市でも、接種をすすめる準備の予算が臨時議会で決まりました。

接種券発送業務・予約受付・接種業務委託などに 2 億 3,000 万円

国が示す方向で、2 月末からの接種に向けた準備

熊本市でも、国が示す優先順位を踏まえ、速やかに接種が開始できるように準備します。

【接種対象と順位】

全国民分のワクチンの確保を目指し、徐々に供給のため、一定の接種順位を決めて接種を実施。以下の順(現時点の見込み)

- (1)医療従事者等
- (2)高齢者(65 歳以上)
- (3)高齢者以外で基礎疾患を有する人
高齢者施設等の従事者
- (4)それ以外の方

* 妊婦の優先、子ども対象は、今後検討。

【手続き】

- (1)接種時期前に市から「接種券」と「コロナワクチン接種のお知らせ」が届く。
- (2)自分の接種可能な時期を確認する。
- (3)接種の場所を探す(確認)。
- (4)電話やインターネットで予約する。
- (5)市町村から郵送された「接種券」と「本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)」を必ず持って接種に行く。

【費用】 無料

【接種場所】

原則として、住民票所在(居住地)の医療機関や接種会場

【接種時の同意】

強制でなく任意接種なので、同意が必要。

【接種による健康被害の救済】

稀に起こる副反応による健康被害には、新型コロナウイルスワクチン接種の場合も、予防接種法に基づく救済を受けることができます。

熊本市の体制は

感染症対策課内に「専任チーム」を設置します。

接種券発送業務・予約受付センター業務を委託して実施(8,000 万円)、ワクチン接種業務を別途委託(1 億 3,000 万円)して行います。

2021 年度費用は、さらに 10 億 8,000 万円が予定されます。

2021 年第 1 回定例会の日程が決まる

今議会は、コロナ禍での予算編成、市民の不安や困難に応えた施策の実施が求められます。今回は、日本共産党市議団の一般質問はありません。予算決算委員会並びに分科会・常任委員会、最終日の本会議等で意見を述べます。

【日程】 (会期は 34 日間)

- 2 月 19 日 開会・本会議(提案理由の説明など)
- 24 日～ 予算決算委員会分科会・部門別常任委員会(補正予算関連)
- 26 日 予算決算委員会(分科会長報告、締めくくり質疑、表決)
- 3 月 2 日 本会議(補正予算にかかる質疑、討論、表決)
- 4 日 代表質問(熊本自民・自民党・市民連合・公明党)
- 5 日 一般質問 田中誠(熊本自民) 小佐井(自民党)
- 8 日 一般質問 村上(市民連合) 井本(公明党)
- 9 日 一般質問 田中敦(熊本自民) 田島(自民党)
- 10 日 一般質問 吉村(市民連合) 三森(公明党)
- 15 日 予算決算委員会(総括質疑)
- 16 日 予算決算委員会(総括質疑)
- 17 日～ 予算決算委員会分科会、部門別常任委員会(当初予算等)
- 22 日 予算決算委員会(分科会長報告、締めくくり質疑、表決)
- 24 日 最終日・本会議(委員長報告、質疑、討論、表決)

* 請願締め切りは、2 月 19 日午後 5 時

* 陳情締め切りは、3 月 8 日午後 5 時

●本会議は、本会議場傍聴席で直接傍聴できます。

(直接傍聴には、新型コロナウイルスの感染対策が必要です)

また、インターネットでの中継もあります。(熊本市役所 HP)

●委員会は、市役所議会棟の各所に設けたモニターでの傍聴です。

(詳しくは、議会事務局へお尋ねください。☎328-2687)

